

# 質的研究の記述法を探る

近年注目をあつめる「相互行為としてのインタビュー」  
その〈聞き取る〉方法論は蓄積されてきましたが、  
聞き取ったものをいかに記述し、いかに成果とするかについては、ほとんど論じられてきませんでした。  
我々は、この新しい魅力ある方法を、どう使いこなしていけるのか。  
「相互行為としてのインタビュー」の〈記述する〉方法論を、共に考えてみませんか？

小宮 友根氏（東京都立大学大学院 博士後期課程）  
鶴田 幸恵氏（奈良女子大学大学院人間文化研究科 助教）  
中河 伸俊氏（大阪府立大学人間社会学部 教授）

日時：2007年12月1日（土） 14:00～17:00  
場所：奈良女子大学 生活環境学部中会議室（F棟2階）

■テキストについて■  
本セミナーは、  
「人びとの人生を記述する——『相互行為としてのインタビュー』について」  
（『ソシオロジ』58(1)掲載）  
をテキストとしています。  
参加される方は、必ず上記論文をお読みの上、参加してください。  
テキストの詳細・入手に関しては、下記連絡先まで。

■お問い合わせ■  
奈良女子大学大学院人間文化研究科 社会生活環境学専攻  
佐藤令奈  
rei-kotonoha@hotmail.co.jp